

## 2-1

## Ver.10.5 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.10.5 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。  
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.10.0 からの差分です)  
[\*\*\*\*/\*\*\*\*] は、該当のオンラインヘルプです。

## I . 2 次元汎用機能

## 1. SXF Ver.3.0 対応

SXF Ver.3.0 の入出力 (.sfc, .p21) に対応しました。  
また、SXF ファイルの入出力を検証する OCF 検定の CC1 に合格しました。  
認定番号：11308090087[ファイル / 外部出力 / SXF 出力]  
[構成 / SXF / 建設 CALS 電子納品用統一フォーマット SXF 対応について]

\* SXF ファイルフォーマットは、国土交通省が進める CALS/EC にて  
CAD 図面を電子納品するためのファイルフォーマットです。

## 2. 作図ナビ

作図ナビツールバーの作図ナビ機能オンオフボタンがトグル式になりました。  
クリックするごとにオンオフが切り替わります。  
また、新たに設定呼び出しボタンを追加しました。「システム設定 - 検出 - 作図ナビ」をボタン一つで呼び出すことができます。  
[基本操作 3/ 作図ナビ]  
[補助 / システム設定 / 検出 / 作図ナビ]



## 3. 作図ナビ

作図ナビ実行中に、グリッドの設定が [距離・角度] がオンの時、微速度移動 (Shift キーを押しながらマウス移動) モードとなった場合、水平 / 垂直時および既存線分要素の延長線上にある場合は、その時点の角度を保持したまま移動できるようになりました。  
[基本操作 3/ 作図ナビ]  
[補助 / システム設定 / 検出 / 作図ナビ]

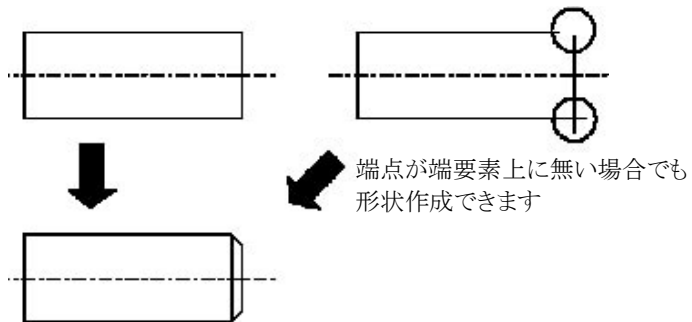
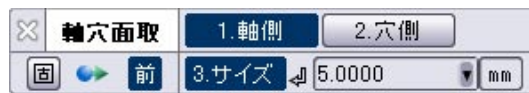
## 4. システム設定・作図ナビ

作図ナビの検出対象要素を設定できるようになりました。  
設定できる要素は「寸法」「注釈」「バルーン」「十字」「中心線」「補助線」「文字」「ハッチング」となります。チェックをオンにすることで検出対象から除外されます。  
[ 補助 / システム設定 / 検出 / 作図ナビ ]



## 5. 軸穴面取

軸の先端および穴の入り口に対する面取形状を作図します。  
[ 作図 / 角処理 / 軸穴面取 ]



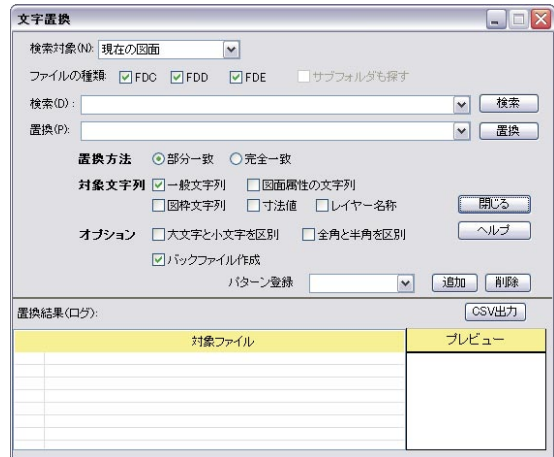
## 6. 文字置換

文字置換コマンドは、現在開いている図面や指定のフォルダの下にあるすべての図面に作図されている文字列を、他の文字列に一括で置き換えるコマンドです。大量にある図面の文字列変換に効果的です。

また文字置換は、一般文字列だけでなく、図枠文字列、図面属性（設計者名や備考など）、レイヤー名称なども置き換えることができます。

対応する図面拡張子は、FDC,FDD,FDE の3種類です。

[ 作図 / 文字編集 / 文字置換 ]



## 7. CSB 単位切り替え

CSB の実数入力ボックスの単位をマウス左クリックで変更できるようになりました。

CSB の左上に表示されているコマンド名の部分にカーソルを合わせ、マウス右ボタンクリックで表示されるメニューから「単位切り替えを有効にする」を有効にすると、単位をマウス左クリックで切り替えすることができます。

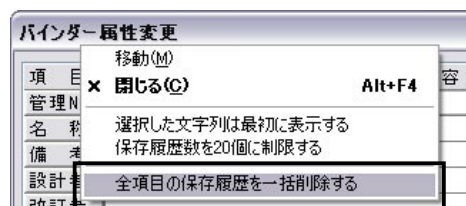
[ 基本操作 2 / CSB の機能と操作 ]

8. バインダー属性変更  
図面属性変更

全項目の履歴情報をすべて削除できるようになりました。

ダイアログのタイトルバーにカーソルをあわせマウス右クリックすると表示されるメニューに「全項目の保存履歴を一括削除する」が追加されています。

[ ファイル / バインダー属性変更 ]



## 9. 連続出力

連続出力中に [ESC] キーを押すと出力確認ダイアログボックスが呼び出せるようになりました。



すべての図面の中止：連続出力をキャンセルします。

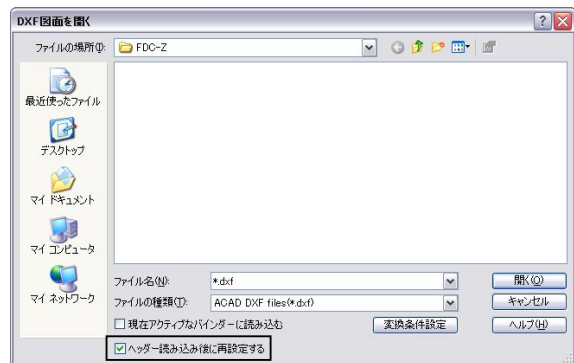
現在の図面のみ中止：今現在中断されている図面の出力を中断し、  
連続出力を再開します。

継続：連続出力を続行します。

## 10. DXF・DWG 入力

「ヘッダー読み込み後に再設定する」をオンで実行したときに表示される、変換条件設定内のレイヤーパネルで「本システムレイヤー名」の値を入力及び変更出来るようになりました。

また、レイヤータブでレイヤー表示が 12 行から 16 行に拡張されました  
[ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



11. DXF・DWG 入力 AutoCAD2009 に対応しました。  
[ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
12. DXF・DWG 入出力 変換条件設定で表示されるデフォルトの AutoCAD 側線種リスト一覧に表示される線種リストを増やしました。AutoCAD 側で使用出来るデフォルトの線種の数と大幅に違うために起こる未定義線種のエラーを大幅に解消しました。また、線種タブで線種表示が 12 行から 16 行に拡張されました
- 入力側：CADPAC で用意していない線種が DXF・DWG データに存在した場合、全て実線に変換されるため、定義されていない線種を入力する場合の線種の設定が可能となりました。
- 出力側：ユーザ定義線種を「CENTER」をデフォルトとし、ユーザ定義が定義されていなくても、設定が可能になりました。補助線の変換ができるようになりました。
- [ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]  
[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]
13. DXF・DWG 入力 イメージで変換される「寸法矢線」の線端形状を CADPAC の線端要素として変換するようになり、これまで寸法変換が不可能だった場合や寸法要素をイメージとして取り込んだ際に、塗り潰しされたグループ要素となっていた（先端種類によります）問題が解消されました。  
※ 3 点角度寸法、弧長寸法、引出線、折り曲げ寸法、幾何公差の線端変換は現状未対応となります。
- [ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
14. DXF・DWG 入力 DXF,DWG データに配置されたブロック図形を CREATOR 2D のグループ図形に変換する際に、ブロック名をグループ名として反映するようになりました。
- [ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

## 15. DXF・DWG 出力

過去バージョンにあった「グループをブロックにする」設定が復活しました。ただし寸法グループは含まれません。

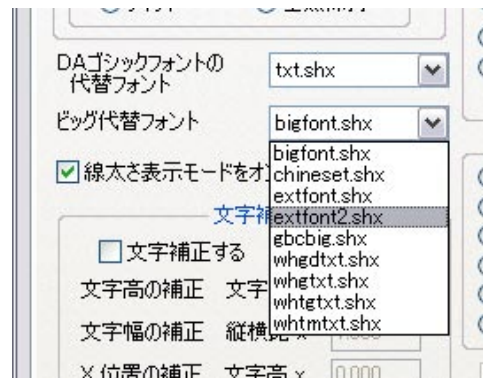
[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



## 16. DXF・DWG 出力

ビッグ代替フォントに「exfont2.shx」を追加しました。日本語用フォント「bigfont.shx」や「extfont.shx」では表現できない外字を使用できます。

[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



## 17. MCAD 入力

Helix の一般部品に対応しました。

[ファイル / 外部入力 / MCAD 入力]

## 18. MCAD 出力

MCAD 出力の出力条件設定を全面的に改定しました。  
[ファイル / 外部出力 / MCAD 出力]



「基本設定」タブ



「線幅」タブ



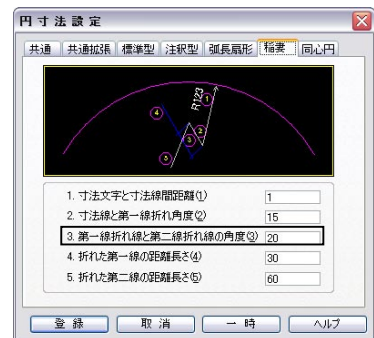
「色」タブ

## 19. IMGPrinter

本バージョンから WindowsVISTA (32bit) に対応しました。  
出図コマンドから、PDF ファイルや TIFF 出力が可能です。  
[ファイル / IMGPrinter PDF・TIFF・XCDF 出力]

## 20. 円寸法

稲妻半径を JIS 規格に則った仕様に改めました。  
これにより、第一折れ線のみ円の中心点へ向かうようになりました。  
それに伴い [C. 設定] のダイアログの稲妻タブに「3. 第一線折れ線と第二線折れ線の角度」が追加されました。  
[作図 / 寸法 / 円寸法]



## 21. 接頭語

[4. 一括]を追加しました。複数の寸法を枠選択ができます。右ボタンで確定するまで連続して枠選択を行うことができます。

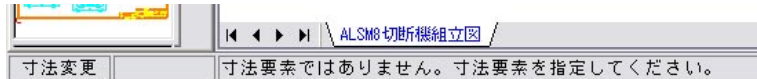
[作図 / 寸法 / 接頭語]



## 22. 寸法変更

寸法要素以外の要素をクリックするとエラーダイアログボックスが表示されましたが、本バージョンよりメッセージ欄にエラーメッセージを表示するように変更しました。

[作図 / 寸法 / 寸法変更]



## 23. 寸法チェック

[9. 漏れ部分]の対象要素に円が追加されました。

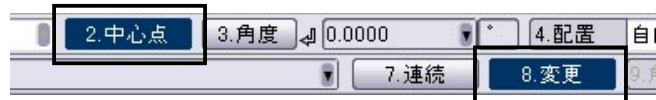
[作図 / 寸法 / 寸法チェック]

## 24. 注釈

[8. 変更]モードの時に、[2. 中心点]が指定可能になりました。

[2. 中心点]オンで注釈の引出線を変更すると、線端が円・円弧要素上にある場合、注釈の引出線は常に円の中心に向かって移動します。

[作図 / 文字記入 / 注釈]



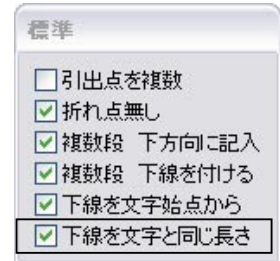
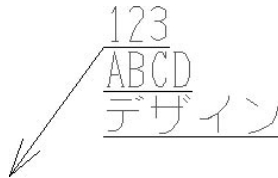


## 25. 注釈

複数段の文字が入力された時に、文字列に合わせて下線を描くことができるようになりました。サブボックスに追加された「下線を文字と同じ長さ」にチェックを入れることで可能となります（サブボックスの「下線を文字始点から」にチェックが入っているとき有効）。

また、前バージョンまでサブボックスで指定した「コメントを枠で囲う」を [A. 設定] 内に移動しました。

[ 作図 / 文字記入 / 注釈 ]

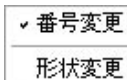


## 26. バルーン

[B. 変更] オン時にバルーン内の文字要素をマウス左クリックで表示できたポップアップメニューを、本バージョンでは図面上でマウス右クリックすることで、どこでも呼び出せるようになりました。

また、文字要素にカーソルをあわせると、ハイライト表示されるようになりました。

[ 作図 / 文字記入 / バルーン ]

27. レイヤー複写  
レイヤー移動

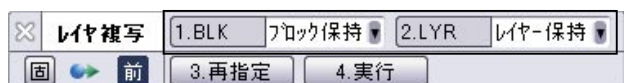
[1.BLK] のプルダウンリストに「ブロック保持」を追加しました。

ブロックを保持した状態でレイヤー複写・移動ができます。

また [2.LYR] のプルダウンリストの「既存レイヤー」を、本バージョンより「レイヤー保持」に名称を変更しました。

[ 編集 / 複写 / レイヤー複写 ]

[ 編集 / 移動 / レイヤー移動 ]



## 28. 枠内消去

[B. スタイル] を右クリックすることで表示できる枠選択条件設定ダイアログボックスに、「グループ検出」を追加しました。

[メンバー個別]

このモードは、例えば、グループ要素を抽出したい場合、[d. 要素] のグループをオンにし、さらにそのグループに含まれる要素タイプ（線分、円など）も指定する必要があります。

[グループ全体]

従来のモードです。例えば、グループ要素を抽出したい場合、[d. 要素] のグループをオンにするだけで、グループ要素全体を抽出することができます

[編集/消去/枠内消去]



## 29. 電子捺印

パスワードのかかっていない印鑑を選択した場合、パスワード入力ダイアログボックスが表示されないようになり、そのまま捺印できるようになりました。

[構成/電子捺印]

## 30. 電子捺印

参照部品が配置してある図面に捺印（ロック）した場合、ロックを掛けた時点で参照部品を埋め込み部品に分解するようになりました。

[構成/電子捺印]

31. 表示速度優先  
SXF 表示モード対応

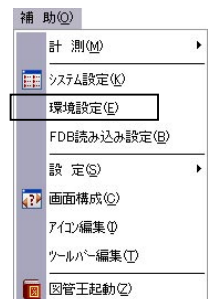
[システム設定/表示] の表示速度優先モードがオンの場合でも、SXF モード（システム設定/全般/モード設定/SXF）が使用できるようになりました。

[補助/システム設定/全般]

## 32. 環境設定

システム設定の項目の一つであった「環境設定」を独立し、補助メニューの直下に移動しました。また、Ver.6.0 以前（デザイン・オートメーション社製）で保存された環境設定は読み込んだ際に問題を起こす可能性があり、非対応となりました。

[補助/環境設定]

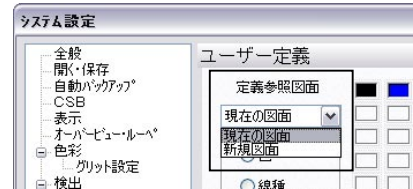


## 33. システム設定・ユーザー定義

新規図面とアクティブ図面の定義内容を共に参照できる様になり、新規図面の定義内容をアクティブ図面の定義に反映出来るようになりました。新たに追加された定義参照図面メニューから表示する定義内容を選択します。

「現在の図面」

システム設定を起動した際のアクティブ図面の定義内容を表示します。



「新規図面」

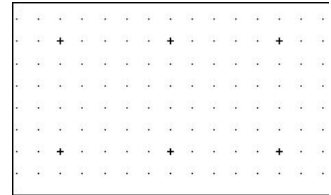
新規図面の定義内容を表示します。

[ 補助 / システム設定 / ユーザー定義 ]

## 34. システム設定・グリッド設定

5グリッド毎に表示される目安グリッドが十字形状で表示できるようになり、通常のグリッドと同様に大きさ、色も任意に設定できるようになりました。

[ 補助 / システム設定 / グリッド設定 ]



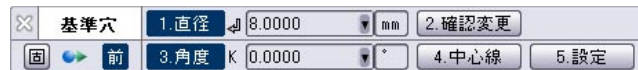
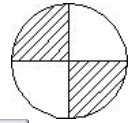
## II . 機械オプション

### 1. 新 JIS 対応

最新 JIS 規格（2007 年版）に対応した「六角ボルト」、「CAP ボルト」、「六角ナット」、「平座金」、「ばね座金」の五種類のコマンドを新たに追加しました。上記の旧 JIS 系コマンドもそのまま残っています。  
[オプション / 機械 / 新 JIS 対応]

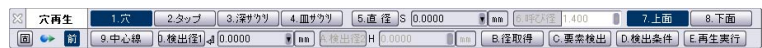
### 2. 基準穴

基準穴を作図できます。作図できるのは上面です。  
[オプション / 機械 / 機械定型 3/ 基準穴]



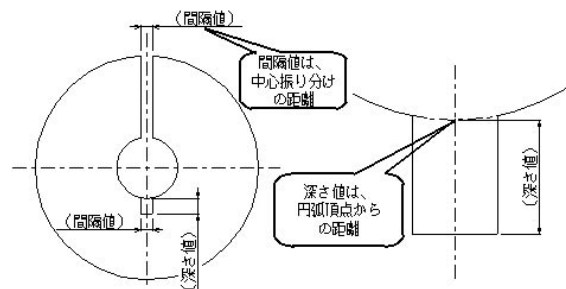
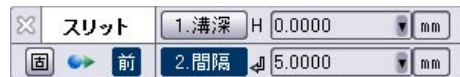
### 3. 穴再生

通常の円・円弧で作図された要素を、穴要素（穴、タップ、深ざぐり、皿ざぐり）としての属性のある要素に変更します。  
[オプション / 機械 / 機械定型 3/ 穴再生]



### 4. スリット形状

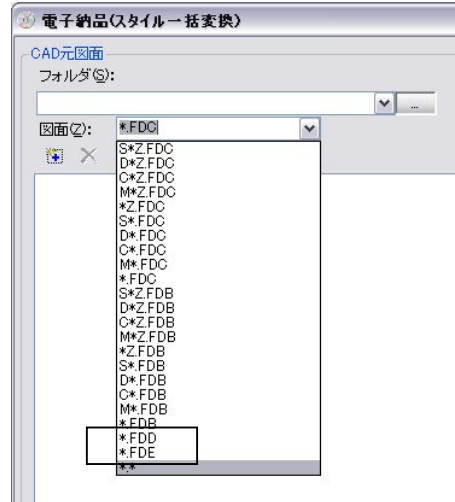
円・円弧：穴作図要素と線要素に対してスリット形状を作図できます。  
[オプション / 機械 / 機械定型 4/ スリット形状]



### Ⅲ. 電子納品支援オプション

#### 1. スタイル一括変換

本バージョンから \*.FDD,\*.FDE に対応しました。  
 [オプション / 土木系 / 電子納品支援 / スタイル一括変換]

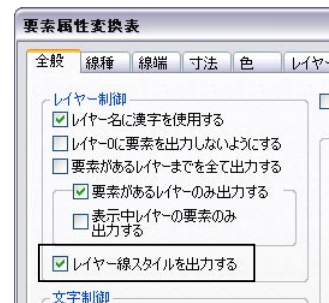


#### 2. スタイル一括変換

DWG、DXF 出力を行う際、スタイル設定に応じたレイヤー線スタイル「色」、「線種」、「線幅」が出力できるようになりました。(これまでは画面名のみ出力可能でした)。

機能を有効にするには、[ファイル / 外部出力 / DWG 出力] 及び [ファイル / 外部出力 / DXF 出力] の条件設定にて「レイヤー線スタイルを出力する」にチェックを入れます。

[オプション / 土木系 / 電子納品支援 / スタイル一括変換]



#### 3. スタイル一括変換

外部出力の際、点要素を除いて出力できるようになりました。テーブル設定ダイアログにある「点要素を出力しない」にチェックを入れることで機能が有効になります。

[オプション / 土木系 / 電子納品支援 / スタイル一括変換]

